

平成 29 年度 高知競馬の収支状況について

○自場売得金

平成 29 年度から始まった SPAT 4（南関東 4 競馬のインターネット発売システム）の土日発売による伸びを主な要因として、自場売得金は約 365 億円となり、平成 28 年度の年間売得金額の記録を更新した。（対前年度比約 112 億円増、44.2 パーセント増）

○他場売得金

他場売得金は約 68 億円（地方競馬約 30 億円、JRA 約 38 億円）となった。

○運営状況

設置から 30 年以上を経過した高知競馬場本場の老朽化対策を進めるための施設改善計画の策定が完了し、今後の改修の基本方針を整理した。

構成団体（高知県、高知市）への利益配分金について協議を行い、平成 30 年度から配分を実施することとした。

安定的な組織運営体制を確保するため、獣医師 1 名を採用した。（平成 30 年 2 月 1 日付）